

●入試名称 大 学 ★問合先等	学部・学科 〈専攻・コース〉	募集人員	出 願 資 格				選 考 方 法	2023年度入試日程						備 考	2022年度入試結果		
			出願 専 願 時 区 の 分	現 浪 区 分	成 績 基 準	取 活 得 動 資 格 績		特 定 条 件 ・ そ の 他	書 類 ・ 学 科 (配 点 ・ 時 間) ・ 小 論 文 (字 数 ・ 時 間) ・ 面 接 (実 施 形 態) ・ そ の 他	エ ン ト リ ー 間	事 前 面 接 業	体 験 授 業	出 願 期 間		試 験 日	合 格 発 表	入 学 手 続 日
●チャレンジ入試 ●自己推薦入試 ●高大接続入試 中 央 大 学 (続)	<チャレンジ入試> 法-法律 -国際企業関係法 -政治	15 5 10	併	浪	×	○	次の全条件。(1)法律学・政治学を学ぶうえで、必要な知識・学力を有し、それを基礎として社会問題等に対してすぐれた思考力、判断力を有する者、(2)関係者とコミュニケーションを図りながら、協働して問題解決を図る姿勢と能力を有する者、(3)将来、グローバル部門、パブリック部門、リーガル部門のいずれかにおいて社会および自己の未来を切り拓く夢を持ち、その夢に挑戦する意欲と能力があり、問題解決をめざす者、(4)課外活動に積極的に取り組み、すぐれた成果を挙げるなど卓越した経験と実績を有する者 (注)選考方法→1次=書類審査、2次=講義理解力試験(講義45分、筆記試験75分)・面接(個別、約15分)	-	-		9.1 ~ 9.7	<1次> - <2次> 10.15 11.8	11.15	調査書-補正せず	158 21 108	25 1 18	6.3 21.0 6.0
	<自己推薦入試> 国際経営-国際経営	25	併	浪	3.8	○	次の全条件。(1)高校時代に課外の活動に積極的に参加し、他の模範となる成果を修める等、個性的で意欲的な高校生活を送り、広い視野と行動力を身に付けた者、(2)TOEFL-iBT72, TOEIC L&R785かつS&W310(IPテスト除く)、IELTS5.5、英検CSE2.0スコア2304以上いずれかの有資格者 (注)選考方法→1次=書類審査、2次=小論文・面接(英語・日本語)	-	-		9.1 ~ 9.7	<1次> - <2次> 10.4 11.8	11.15	調査書-補正せず	78	60	1.3
	<高大接続入試> 経済-経済 -経済情報システム -国際経済 -公共・環境経済	若干	併	浪	×	○	自己推薦型=自身が関心や問題意識を持ったテーマに関して、社会と地域と連携した活動に主体的に取り組んでいる者 1次=書類審査 2次=小論文(60分)・外国語試験(英・独・仏・中国語から選択、60分)・プレゼンテーション(約15分)	-	-		9.6 ~ 9.12	<1次> - <2次> 10.14 11.7	11.14	調査書-補正せず (注)共通出願条件→本学部入学後の学修計画や将来の構想が明確であり、これまでの自身の活動経験を本学部における学びやその後の進路において活用できると自己アピールできる者	27	7	3.9
				併	浪	×	○	資格・実績評価型=次のいずれか。(1)日簿2級、全商簿1級、基本情報技術者、応用情報技術者いずれかの有資格者、(2)本学主催の「高校生地球環境論文書」または都道府県レベル以上で環境問題、社会福祉、社会保障問題をテーマとする懸賞論文等において、作品が入選以上の表彰をされた者、(3)本学部科目履修生として、「経済入門」を履修し、B以上の成績を修めた者 (注)選考方法→書類審査・小論文(60分)・外国語試験(英・独・仏・中国語から選択、60分)・面接(個別)	-	-		9.12 ~ 9.16	10.29 11.7	11.14		23	18

●入試名称 大 学 ★問合先等	学部・学科 〈専攻・コース〉	募集人員	出 願 資 格				特 定 条 件 ・ そ の 他	選 考 方 法		2023年度入試日程					備 考		2022年度入試結果			
			出願時区分	現浪区分	成績基準	取活動実績		書類・学科(配点・時間)・小論文(字数・時間)・面接(実施形態)・その他	面接	面接	期	事	出	試	合	入	縮	合	出	合
●高大接続型自己推薦入試 中央大学 (続)	<高大接続型自己推薦入試> 理工-数学	10	併	浪	△	△	本学で数学を学習するための基礎学力(数Ⅲまでの基礎知識)を持ち、次のいずれかに該当し、学修意欲、創造力をアピールできる者。(1)数4.7以上、(2)数学に関する活動で成果をあげた者、(3)科目履修生として本学科で単位を取得した者、(4)日本数学または情報オリンピック予選AランクまたはBランク、(5)情報処理やコンピュータに関して少なくとも1つ資格を有する者、(6)囲碁、将棋の有段者(アマ五段以上) (注)選考方法→1次=書類審査、2次=筆記試験(90分)・面接	-	-	-	-	-	-	-	-	-	調査書-補正せず	13	5	2.6
	-物理	8	併	浪	○	×	次の全条件。(1)メンター(助言者)として、在籍高校の教員(理科または数学の教員)1名を指定し、そのアドバイスの下、本学科のウェブページに掲載された探究課題の中の1テーマについて研究した者、(2)英・数・物の平均が4.0以上 (注)選考方法→1次=書類審査・提出レポート、2次=筆記試験(60分)・レポート発表(発表10分、質疑応答約10分)	-	-	9.15	<1次> -	10.21	11.28	<2次> 11.18	調査書-補正せず (注)履修条件→C英ⅡⅢ・英表ⅡⅡ、数ⅡⅢⅢAB、物基・物を履修していることが望ましい	2	2	1.0		
	-都市環境	3	併	浪	3.8	○	次の全条件。(1)本学で都市環境学を学習するための学習意欲、創造力をアピールするものを持っている者、(2)基礎学力あるいはデザイン能力等に近い分野で、特別な能力を有する者 (注)選考方法→1次=書類審査・提出レポート、2次=筆記試験(60分)・グループディスカッション	-	-	9.15	<1次> -	10.21	11.28	<2次> 11.18	調査書-補正せず (注)履修条件→C英ⅡⅢ・英表ⅡⅡ、数ⅡⅢⅢAB、物基・物を履修していることが望ましく、履修の有無を考慮することもある	5	2	2.5		
	-精密機械工	5	併	浪	3.8	○	次の全条件。(1)本学で精密機械工学を学習するための学習意欲、創造力をアピールするものを持っている者(例→各種科学賞、ものづくりコンテスト、ロボットコンテスト、技能五輪、SSHにおいて実施した課題研究への取組み、海外経験など)、(2)全体3.8以上で数・物が各4.0以上 (注)選考方法→1次=書類審査、2次=筆記試験(90分)・面接(約20分-プレゼン・質疑応答含む)	-	-	9.15	<1次> -	10.21	11.28	<2次> 11.18	調査書-補正せず (注)履修条件→数ⅡⅡAB・物基必須、数Ⅲ・物が含まれていることが望ましい	0	-	-		
	-電気電子情報通信工	5	併	浪	4.0	△	電気電子情報通信分野において主体的に活躍した実績、または今後主体的に活躍するために有用と考える優れた能力をアピールできる者(それらを客観的に証明できる資格やコンテストでの成績などの書類があれば好ましいが、必須ではない) (注)選考方法→1次=書類審査、2次=実験または演習(約180分)・面接(20~30分-課題発表含む)	-	-	9.15	<1次> -	10.21	11.28	<2次> 11.18	調査書-補正せず	4	2	2.0		

●入試名称 大 学 ★問合先等	学部-学科 〈専攻・コース〉	募集人員	出 願 資 格				選 考 方 法	2023年度入試日程					備 考	2022年度入試結果			
			出願時期の区分	現浪区分	成績基準	取活動実績資格		書類・学科(配点・時間)・小論文(字数・時間)・面接(実施形態)・その他	エントリー期間	体験授業事前面接	出願期間	試験日		合格発表	入学手続締切日	可否判定評価法(調査書重視項目)、新設、その他	出願者数(エントリー数)
●高大接続型自己推薦入試 中央大学 (続)	<高大接続型自己推薦入試> 理工-応用化学	2	併	浪	4.0	○	本学で応用化学を学ぶための基礎学力、探究心、創造性をアピールできる者(例→化学グランプリ等)に出場、化学に関する活動で成果を挙げた者、化学に関連した研究や調査の結果に対して公的な表彰を受けたことがある者) (注)選考方法→1次=書類審査、2次=筆記試験(60分)・面接(約20分-自己アピール含む)	-	-					調査書-補正せず	0	-	-
	-ビジネスデータサイエンス	2	併	浪	4.0	○	本学でビジネスデータサイエンスを学ぶための基礎学力、創造力、知的好奇心、学修意欲をアピールできる者(例→全国または国際的な規模のコンテスト)に出場、情報や数学に関する資格、コンピュータソフトウェアの創作コンクール・経営に関するコンクールなどに応募し成果を挙げた者) (注)選考方法→1次=書類審査、2次=筆記試験(60分)・面接(約30分)								4	3	1.3
	-情報工	1	併	浪	4.0	○	コミュニケーション力が「相手の意見をひとつとおり理解し、相手に自身の意見をひとつとおり伝えられる」、組織的行動能力が「指示されると作業できる。目標を達成するため自ら動ければ、なお良い」、自己実現力が「自ら明確な目標を定め、その実現のために道筋を考え努力する。その際、自己管理を怠らない」、各能力が水準に達していること、および多様性創発力が「多様性(文化・習慣・価値観等)を意識し、理解しようとしている」水準に達していることのエビデンスとなり得る何らかのアクティブ・ラーニングの実績をアピールできる者 (注)選考方法→1次=書類審査、2次=筆記試験(60分)・面接(約30分)			9.15 ~ 9.22	<1次> - <2次> 11.12	10.21 11.18	11.28		0	-	-
	-人間総合理工	8	併	浪	4.0	△	本学で人間総合理工学を学ぶための基礎学力を有し、本学科所属研究室の少なくとも2つ以上に深い興味を持ち、本学科での学びに有用と考えられる探求心、創造性、コミュニケーション能力などにおいて、自らの能力の高さを強くアピールできる者(それらを客観的に証明できる資格やコンテストでの成績などの書類があれば好ましいが、必須ではない) (注)選考方法→1次=書類審査、2次=プレゼンテーション(約15分)・質疑応答							調査書-補正せず (注)履修条件→C英ⅡⅢ・英表ⅡⅢ、数ⅡⅢⅣAB、理(物基・物、化基・化、生基・生のいずれか)を履修していることが望ましい	14	7	2.0